

NEX データと JBOND、日本円レポ・インデックス・レート (RIR) の提供を開始

【ロンドン、ニューヨーク、2018年7月16日】 -本日、店頭(OTC)市場における独自のマーケット情報と価格情報を提供する NEX データと、日本のレポ市場で電子取引プラットフォームを手掛けるジェイ・ボンド東短証券(JBOND)は、日本国債の実効調達コストを測る JBOND NEX レポ・インデックスの提供開始を発表しました。JBOND NEX レポ・インデックス は日本初のレポ取引のインデックスで、金融業界からの強い要請に基づいてスタートしました。

最近の日本円(JPY)のレポ市場は非常に活況で、2017年の平均月末残高は160兆円に達しています。JBOND NEXレポ・インデックスは、日本国債を担保とするレポ取引の取引額加重平均レートで、ディーラー間市場の全般的な調達コストに関する的確な情報を提供します。

JBOND NEX レポ・インデックスは 6 月 18 日の設定で、JBOND 上で取引され、日本証券クリアリング機構(JSCC)により清算された、適合する翌日物のレポ取引のデータを使用しています。同インデックスは、ベンチマークのアドミニストレーターである NEX データによって日々計算されます。

JBOND は日本国債レポ取引の主要な取引の場で、これらのベンチマークは市場現場の正確で生きた価格を反映したものとなるでしょう。このベンチマークで使用されている計算方法は、NEX データで公表されている他のすべてのインデックス商品と同様、IOSCO(証券監督者国際機構)の金融ベンチマークに関する原則に則ったものです。

NEX データのマネージング・ディレクターであるケビン・テイラーは以下のように述べています。「NEX データの有するインデックス計算の高度な専門性と、JBOND のプラットフォーム上の取引に基づく透明性の高い手法を組み合わせることで、日本の国債市場の透明性を促進し、市場での調達コストの評価向上に寄与したいと考えています」。

JBOND の斎藤聖美代表取締役社長は、「日本国債(JGB) 市場は世界でも最も成熟した市場のひとつですが JGB レポ市場の情報は非常に限られていました。JBOND NEX レポ・インデックスは、国内外の投資家の投資判断のサポートとなると同時に市場の透明性を間違いなく大きく改善することになるでしょう」と述べています。

NEX データは透明性向上のために、市場での取引に基づいた様々なデータを提供しています。EU 内の多くの市場で一連のレポファンズ・レートのベンチマークを管理するほか、日本円の初の完全電子取引に基づく参照レートである EBS JPY ベンチマークの管理も行っています。また、EBS は日本円スポット取引の世界的な主要取引プラットフォームであることから、NEX は日本円の主要参照レートも提供しています。

最新のデータは、JBONDと NEX データのウェッブサイトから入手することができます。

以上



NEX データについて

NEX データは NEX Optimisation の一社です。NEX Optimization は、リソースの最適化と複雑な課題の簡潔化を支援する企業グループです。独立した OTC のデータをリアルタイムで、あるいは日次または過去にさかのぼって、価格情報とマーケット情報を提供する会社です。当社のデータは取引サイクル全体をカバーし、お客様の効率的な取引の執行を手助けします。一日のデータ更新は 4 億回を超え、常に商品の改良に努めています。アルゴリズムに従ったトレードや、リサーチモデル、リスクとコンプラインスの適用、ポートフォリオの時価評価や管理を支える情報をご提供いたします。

さらに詳しい情報に関しては、www.nextdata.comをご覧ください。

NEX Markets はお客様に流動性へのアクセスを提供し、お客様の効率的な約定をお手伝いします。為替市場とグローバル債券市場の中枢で電子取引のテクノロジーとサービスを提供しています。複数の約定オプションとさまざまな調達先からの貴重な流動性を提供し、効率的な取引の執行をお手伝いします。当社は、当社のサービスをご利用いただく世界各地のプロのトレーダーのニーズに合うよう、常に金融テクノロジーを磨き、プラットフォームや商品の改良を重ねています。さらに詳しい情報に関しては、www.nextmarkets.comをご覧ください。

報道関係者 お問合せ

アシュトン・コンサルティング 塩加井/東川

NEXGroupJapanPR@ashton.jp 03-5425-7220